

(様式3)

事業所名 認知症対応型共同生活介護施設アルテミス

ユニット名 西・東ユニット

作成日: 令和 6年 11月 1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|-------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 33 | 施設での看取り対応があった。2年前に比べ、協力病院と連携をとりながら対応をできたが、スタッフの中には戸惑いや、マニュアルを見ながら確認する事が多かった。 | 施設での看取り対応をどのスタッフでもできるようにする。 | ①現在あるマニュアルを具体的な内容になるよう見直す。 ②看取り時の協力病院との連携のあり方を再度スタッフと確認していく。 | 24ヶ月 |
| 2 | 35 | コロナ感染によりクラスターを発生させた。一部重症化する入居者もいた。感染対策を行っていたが防げず広がってしまった。 | 感染者が出てもクラスター化させない対応ができるようになる。 | ①今後も手洗いやマスク着用などのスタンダードプリコーション(標準予防策)を徹底指導していく。 ②今年度より作成したBCP(事業継続計画)マニュアルを活用する。 ③感染対策委員会を定期的に開催する。 ④防護服の使用方法を定期的に研修する。 | 24ヶ月 |
| 3 | 12 | 入職者がいない。 | 高齢のスタッフや外国籍のスタッフなど多様な人材に対応できるようになる。 | ①新人職員の離職が少なくなるように研修など受けもらい、向上心・やりがいを持ってもらう。 ②ケア記録の電子化や介護ロボット導入を検討し、職員の腰痛を防ぎ、業務量も軽減出来るようにつとめる。 | 24ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |